

第13号

坂井市農・地・水's - 愛

～ 集落委員会 共同活動紹介 広報誌 ～

三国町加戸、丸岡町一本田、春江町沖布目及び坂井町兵庫地係の四地点で、生物生息調査を行いました。小規模な排水を主な調査地点としましたが、ギンブナ、キタノメダカ、ドジョウ、ヤゴ、オオタニシの他、外来生物である、ザリガニやタイリクバラタナゴの生息も確認されました。

多くの生物が多様な環境の中で確認され、生物生息環境が十分に整いつつあるように感じました。集落委員会の皆様の共同活動に感謝いたします。

豊かな農村に多様な生物が生息します。(2023/7/5撮影)



ギンブナ (コイ科)



キタノメダカ (メダカ科:絶滅危惧Ⅱ類)



ドジョウ (ドジョウ科:準絶滅危惧)



ヤゴ (トンボ科)

頁	内容 (令和5年度テーマ : 集落活動の後継者)
p 1 ~ p 2	黒目農地を守る会 (三国 : 浜四郷地区) 活動紹介
p 3 ~ p 4	木部西方寺みどりを育てる会 (春江 : 北部地区) 活動紹介
p 5 ~ p 6	乗兼環境活動組織 (丸岡 : 長畝地区) 活動紹介
p 7 ~ p 8	上蔵農地水環境保全会 (坂井 : 大関地区) 活動紹介
p 9 ~ p 14	代議員会・研修会、ホテルシンポジウム報告 他

黒目農地を守る会

代表 小川 邦彦

1. 集落委員会の概要

三国町黒目は浜四郷地区の西側に位置しており海側にはテクノポートがあります。周囲は砂地で、農地と防風林で囲まれています。

集落は約40戸で区民全員参加の活動を年に3～4回程度行っております。

設立		活動内容	防風林の枯れ松伐採
所在地	坂井市三国町黒目		農道の砂除去
構成員	82名		排水溝泥上げ
対象区域	畑 5558a		農道、用水路の草刈り
役員構成	代表1名、会計1名、委員7名		空き缶拾い、ごみ拾い プランター植栽

2. 集落委員会活動で困っていること

農地全体が砂地の為、強風や大雨があると道路や排水溝に砂が流出します。そのため毎回道路の砂上げをしなければなりません。また防風林の松が松くい虫の被害にあい枯れてしまっているため伐採する必要があります。これらの作業は重機やチェーンソーなどを使う危険な作業や力仕事が多いのですが、高齢化が進んでいる為できる人が限られてきています。

3. 後継者育成について工夫しているところ

役員の後継者を探しているのですが65歳以上が50%以上（限界集落）ということもありなかなか見つかりません。特に実務者は平日の昼間の時間帯に市役所や農協に行くことがあるので普通の時間帯で仕事をしている方はなかなか難しいのが現状です。

4. 集落委員会の活動状況

道路の砂上げ



道路の砂上げ



枯れ松伐採



枯れ松伐採



雑木伐採



草刈り作業



役員会



点検作業



5. この事業を通じて

区民の方と接する機会が増え、作業を通じてコミュニケーションも取れると感じています。幸い多くの方が参加していただけているので今後も事業を継続して行い、地域の環境保全に努めていきたいと思います。

木部西方寺みどりを育てる会

代表 牧田治兵衛

1. 集落委員会の概要

当木部西方寺区は春江町大石地区の西側に位置しており、区内には、創建1,200年を超える延喜式内社である紀倍神社をはじめ、観音堂、源徳寺などの宗教に関する建物が3カ所あります。

区は水田に囲まれ、また神社も木々に覆われ、その前に続く松並木は、南北朝時代には騎馬の戦闘訓練の場所であり、現在は区を風雪から守ってくれています。また、活動開始時の集合場所を区を中心に位置する観音堂にすることで、普段は疎遠となりがちの観音堂に足を運んでもらっています。



集落委員会については、単独で開催しても人が集まらないため、区の総会や社会奉仕終了時に併せて開催し、多くの方に参加してもらうようにしております。

設立	平成20年4月	活動面積	24ha
所在地	坂井市春江町木部西方寺	主な活動	総会、委員会、防草シート貼り
構成員	50名		排水路泥上げ、汚水枡泥上げ
構成団体	各戸代表、シルバー会、婦人会		陥没修復作業、シバザクラ植栽
役員	代表1名、副代表1名、書記1名 会計1名		空き缶拾い、草刈り、 ポイ捨て防止看板作成設置、 異常気象時見回り、機能診断

2. 集落委員会活動で困っているところ

委員会の主な構成員は区民であります。木部西方寺区は22戸で、約90名が暮らしておりますが、そのうち約40%が60歳となるなど高齢化が進み、これに加え死亡や区外への転居もあり、急速な限界集落化が進んでおります。そのため、水路の泥上げ等も年々体力的に厳しい状況となっており、加えて、事業として農業を営む先が5先しかないことから、活動に参加していただけない方もおられます。また、各人が仕事を持っている中、人員不足から区内の本委員会をはじめとする様々な団体に所属しており、作業回数を増やすことは区の維持につながる一方、個人の負担増（休日作業）となることも、ジレンマとなっております。そのため、区の行事日と重ね活動を行ない、活動時間は長くとも2～3時間程度とすることで、体への負担減と休日活動日の回数を減らすようにしています。

3. 後継者育成について、工夫しているところ

活動については、今後も区の行事日と重ねて活動するとともに、後継者問題については、とりあえずは区の各種団体に声かけし、特に壮年会の方には協力を得ながら活動に加わっていただき、後継者として育ててまいりたいと考えております。

4. 活動写真

<p>総会</p> 	<p>役員会</p> 	<p>汚泥枡の泥上げ</p> 
<p>水路の泥上げ</p> 	<p>水路の泥上げ (生物の確認)</p> 	<p>水路の泥上げ (生物の確認)</p> 
<p>草刈り</p> 	<p>防草シート貼り</p> 	<p>法面の陥没修復作業</p> 
<p>農道の陥没修復作業</p> 	<p>シバザクラの植栽</p> 	<p>空き缶・ゴミ拾い</p> 
<p>ポイ捨て防止看板の制作</p> 	<p>機能診断</p> 	<p>異常気象時見回り</p> 

5. この事業を通じて

過疎化が進んでいる当区においては、この活動を通じて、自然や農業環境を守っていくのは当たり前として、世代を乗り越えた情報共有の場、見守り活動の場として活動することで、委員相互の協力体制の構築に努めてまいりたいと思っております。

乗兼環境活動組織

代表 尾嶋 清治

1、 集落委員会の概要

丸岡町長畝地区の北に位置し、近くにつばみ保育園、のうねの郷第二コミュニティーセンターなどの公共施設が有ります。周囲は田んぼに囲まれています、少し離れて東側には山が、南側には竹田川が、西側には国道8号線が走っており、自然豊かな地区です。集落は18戸からなり、地域の区民全員が参加する活動を行っています。

設立	平成19年4月	対象施設	水路 1.8 km 農道 2.9 km
所在地	坂井市丸岡町乗兼		パイプライン 2.0 km
構成員	53名	活動内容	総会 役員会 全体会議
構成団体	乗兼区、農家組合、婦人会、老人会		花壇の整備 サツマイモの栽培
役員	代表 1名 副代表 1名 (区長) 委員 4名 監査 2名 (班長)		農道排水路の草刈り 防草シート 貼り 空き缶・ごみ拾い 猪金網 柵、電気柵の点検整備 機能診断 異常気象時の見回り
対象区域	田 1,678 a		

2 集落委員会活動で困っているところ

農業者の減少や、高齢化等により活動に対する参加者が集まりにくくなってきました。無理をしないで、少しずつ無理をしない気持ちで活動を続けています。

また、猪、イタチ、ハクビシン、アライグマ、など鳥獣害対策に取り組んでいますが、次から次へと出てきており、農道や法面を荒らすことが有り苦慮しています。

対策としては、猪用金網柵を竹田川沿いに約 500m 敷設 電気柵を北側の田圃を囲むように約 1.5 km 敷設しました。その他 昨年は坂井市農業振興課にお願いして捕獲檻をお借りして、6匹ほど捕獲しました。今度、農地が荒らされないように対応していきたいと思います。

3 後継者育成について

農業については、今まで生産組合で対応しており人手不足を、今後定年退職者の応援を頂きながら、集落内で対応していきたいと考えています。

共同活動については、婦人会による花壇の植栽、老人会によるサツマイモの栽培、区民全世帯の居力により防草シート貼り、用排水路と農道の草刈り、泥上げなど、頑張っています。

4 集落委員会の活動

今回、県畜産試験場よりヤギをお借りして、草刈りの対策としてその効果を確認してみました。草は思ったほど食べてもらえず、ふれあい牧場になり、子供たちの人気者になってしまいました。



桜の木(20年前に植えて)



花壇の様子

花壇の植栽



鳥獣害対策金網の保全草刈り

コスモスの種まき



農道・用排水路の草刈り



空き缶、ゴミ拾い



全体会議 (年間計画)



防草シート貼り



総会



用排水路の泥上げ



機能診断



5 この事業を通じて

この事業を通じて、集落内でみんなと一緒に作業することにより、地域のつながりが強くなりました。また、今まで出来なかった農道舗装や鳥獣害対策を出来る様になりました。今後もこの事業を継続して、農業の環境や生活環境が良くなる様に継続していきたいと思ひます。

上蔵農地水環境保全会

1. 集落委員会と地区の営農概要

当地区は道の駅「さかい」の北側に位置し、当委員会は集落周辺に広がる農地の保全を目的に農道・用排水路など土地改良施設の管理と保全に努めています。また、当集落は15世帯の小さな集落であるなか、集落内の兼業農家と他地区の営農組織により米作り・野菜作りを行っています。

- ・委員会の設立 平成26年4月
- ・構成員 農業者 11名 非農業者 27名
- ・役員 代表 1名 書記 1名
- ・土地改良施設 水田（標準区画 1反） 約20ha
水路（用水路：BF、排水路：HF） 約7.2km
農道（未舗装） 約4.5km
- ・活動内容 機能点検と診断 総会（会合）
用排水路の泥上げと草刈り 農道の草刈りと敷き砂利
空き缶（ゴミ）拾い

2. 集落委員会で困っていること

設立から10年が経過しているが、主たる構成員は変わらず、高齢化が進んでいます。併せて土地改良施設の老朽化も進んでいるなか、支線用水路のパイプライン化や畦倒し等による農地の均平・拡大が今後実施できるのか、併せて健全な営農と農地の保全が出来るものなのか不安です。

3. 後継者育成について

当活動には集落の農業従事者で50歳半ばから70歳半ばの男性が主に取り組んでいます。今後は次世代の若き農業者が当事業の大切さと必要性を理解し、**取り組んでもらえる専門的知識の会得が出来るような勉強会が必要**と考えます。

4. 集落委員会の活動状況

（機能点検と診断）



総会（会合）



空き缶回収



幹線及び支線排水路の泥上げ



トラクターによる農道の草刈り



幹線排水路の草刈り



農道への砂利敷き均し



5. この事業を活用して この事業を活用して、農業施設の維持管理と補修及び環境保全を非農家の方と力を併せて行ってきました。今後も**近い将来に実施するであろう土地改良事業に期待をして、当事業に取り組んでいきたい**です。

令和5年度 代議員及び研修会 ハートピア春江小ホール (2023/6/22)



代議員会 122集落 (3集落 欠席)

承認第1号 令和4年度 事業報告及び収支決算の承認について・・・承認

広域協定ホームページ開設いたしました。

研修会 201人 (3集落 欠席)

研修-1 ～ 多面的機能支払交付金 共同活動の安全確保について ～

研修-2 ～ 集落の合意形成の手順について(適正な資金管理) ～

研修-3 ～ 景観形成のポイント ～



油為頭環境改善クラブ 野村代議員



代議員・実務者の皆さん

坂井市ホタルシンポジウム のうねの郷コミセン大ホール (2023/6/15)



1 三国木部ビオトープ再生ホタルプロジェクトについて

三国木部ホタル研究所 所長 森岡 正己 氏

2 坂井市のホタル再生を目指して (意見交換会)

森岡 正己 氏 (三国木部ホタル研究所 所長 兼 楽円農地水管理組合)

高屋 幸一郎 氏 (八ヶ郷地域を守る会)

牧野 行治 氏 (山久保ほたるの宿る里づくりの会)

坪田 浩司 氏 (上兵庫農地保全推進委員会 コーディネーター)

3 主な意見及びアンケートから

- ・ 山久保のシンボルとしたい。地区外在住の孫たちがホタルを見に来る。
- ・ 八ヶ郷地域づくりの核となればと検討している。
- ・ 坂井市のシンボルとできないか。
- ・ ホタルの育成を通じ、まちづくりに繋がられないか。

意見交換会から感じたこと

パネラーとアンケートでは、「**ホタル再生を地域づくりの核にできないか。**」の意見で終始しました。また、シンポジウムの締めは、山久保を訪れ、五領川流域に飛び交うホタルを観察いたしました。**山久保の方々の丁寧なご案内**は、心地よく満足の時間を過ごさせていただきました。**農業と農村を未来へ繋ぐ共同活動と温かな心に感謝しお礼を申し上げます。**



丸岡町山久保北側を流れる五領川水流域がホタルの生息地 (丸岡町山久保 2023/6/9 撮影)



生物生息状況調査の様子 (2023/7/5 撮影)



タイリクバラタナゴ (外来種 2023/7/5 撮影)

生物生息状況調査で一番多く捕獲されたのは、ザリガニでした。一見、生息していないと思うところから、多くの生物が捕獲されました。ホタルの餌となる、カワニナやシジミも確認できました。サギは水田のいたるところで見られ、その地には、大型鳥類の餌となる生物が沢山生息していると推察できます。勿論、多様な生物の生息環境も整っていると思われます。県内各地で、コウノリの巣立ち記事が掲載されています。

皆様の共同活動を通じて、多様な生物の生息環境が整い始めたことに感謝いたします。

発刊：坂井市農地水広域協定 (坂井市役所内)

坂井市坂井町下新庄 1-1

☎0776-67-2351